映像ディスクを使う

DVDビデオを見る

DVDビデオの基本的な再生のしかたについて説明します。

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

▼

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

▼

操作タッチキー1が表示されます。

操作タッチキー 1

キー	説明
トップメニュー / **メニュー**	ディスクに記録されたメニューがある場合、メニュー画面を表示します。(→P163)
▶/II	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
リピート	リピート再生を行います。(→P164)
II▶	コマ送り再生/スロー再生を行います。(→P164)
◆	ディスクメニュー操作キーを表示して、ディスクメニューの操作を行います。(→P163)
ブックマーク	再生中のディスクにブックマークを登録します。(→P165)
次ページ	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2

キー	説明
字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→P165)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→P165)
L/R切換	音声出力を切り換えます。(→P166)
アングル	再生中にカメラアングルを切り換えます。(マルチアングル)(→P166)
リターン	戻る位置が指定されたディスクの場合、再生中に指定された位置まで戻って再生します。(→P166)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P166)
ワイドモード	表示画面を設定します。(→P167)
前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

⏮または⏭を押す	チャプターのダウン／アップ
⏮または⏭を長く押す	早戻し/早送り
⏮または⏭を5秒以上押し続ける	キーを離してからも早戻し/早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

ワイプで操作する場合：

DVDビデオ再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「ワイプ操作」(→P16)をご覧ください。

→ワイプ	チャプターをアップします。
←ワイプ	チャプターをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

メモ

- ビュー にタッチすると操作タッチキーは消えます。
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P135)
- DVDによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。→「ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)」(P163)
- オートプレイの設定をONにすると、タイトル順に自動的に再生することができます。→「オートプレイ」(P176)
- DVDの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVDに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P206)
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P242)を参照してください。

ディスクメニューの操作（ダイレクトタッチ）

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。
本機は、画面に表示されるディスクメニューに直接タッチして操作することができます。

1 トップメニュー または メニュー にタッチする(→P162)

2 画面にタッチして操作する

メモ

- ◆にタッチするとディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

ディスクメニュー操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくてタッチしにくいときや、文字列の一部がタッチキーなどに隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

1 操作タッチキー1またはディスクメニュー表示中に ◆ にタッチする(→P162)

つづく→

2 ∧ ＜ ＞ ∨ にタッチして項目を選び、決定 にタッチする

メモ

- ←位置 にタッチすると、ディスクメニュー操作キーの表示位置を画面右側から画面左側へ変更することができます。表示位置を画面右側へ戻す場合は 位置→ にタッチしてください。
- ビュー にタッチすると、ディスクメニューに戻ります。
- 戻る にタッチすると、一つ前の画面に戻ります。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEATに指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 リピート にタッチする（→P162）

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT → DISC REPEAT に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート再生範囲は、画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘（禁止マーク）が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 II▶ にタッチする（→P162）

▼

再生が一時停止し、II▶ にタッチするごとに、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- ▶/II にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、⊘（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 II▶ に2秒以上タッチする（→P162）

▼

スロー再生されます。

スロー再生中に II▶ にタッチするごとに、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

- ▶/II にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によって、🚫(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

ブックマークの登録

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 ブックマーク にタッチする (→P162)

▼

選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、ブックマーク に2秒以上タッチします。

メモ

- ディスク1枚につき1場面登録でき、ディスク5枚分のブックマークを登録できます。5枚を超えて新しいディスクにブックマークを登録すると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

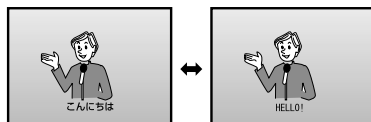
字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換 にタッチする (→P162)

▼

タッチするごとに、字幕言語が切り換わります。

↔
メモ

- パッケージについている[2]マークの数字が、字幕の収録数です。
- DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

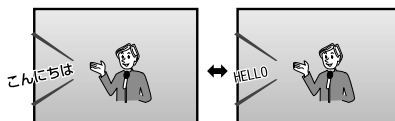
音声言語の切り換え

音声が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換 にタッチする (→P162)

▼

タッチするごとに、音声言語が切り換わります。

↔
メモ

- パッケージについている②))マークの数字が、音声の収録数です。
- DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- DTS音声は再生できません。
- [Dolby D]や[5.1ch]などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声出力の切り換え

音声がリニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 L/R切換 にタッチする (→P162)

▼

タッチするごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L＋R → L → R → Mix → L＋Rに戻る

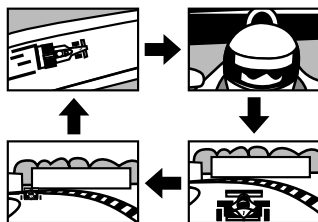
L+R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
Mix	左右の音声をミックスして出力します。

アングルの切り換え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます（マルチアングル）。

1 アングル にタッチする (→P162)

▼

タッチするごとに、アングルが切り換わります。

メモ

- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。
- パッケージについている マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、DVD機能設定メニューの「マルチアングル」で行います。→*「マルチアングル」(P175)*

リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 リターン にタッチする (→P162)

▼

ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチ にタッチする (→P162)

2 指定する方法（サーチの種類）にタッチする

TITLE、CHAPTER、TIME、10キーモード が選べます。

数字キー

3 見たい場面の番号を入力し、決定にタッチする

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。分・秒にタッチすると分と秒を確定します。
10キーモード	数字のコマンドを入力します。

▼

指定した場面から再生を始めます。

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

1 ワイドモードにタッチする （→P162）

2 お好みの表示方法を選んでタッチする

メモ

- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

FULL（フル）

４：３の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。

JUST（ジャスト）

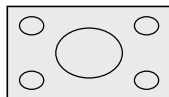
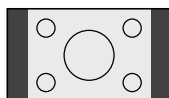
画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。

CINEMA（シネマ）

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。

ZOOM（ズーム）

４：３の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。

NORMAL（ノーマル）

４：３の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

DVD-VRを見る

DVD-VRの基本的な再生のしかたについて説明します。

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

▼

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

▼

操作タッチキー１が表示されます。

操作タッチキー 1

リスト表示	タイトルリストを表示します。(→P169)
▶/II	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
リピート	リピート再生を行います。(→P169)
II▶	コマ送り再生／スロー再生を行います。(→P170)
CMバック／CMスキップ	一定の秒数だけ早戻し／早送りを行います。(→P170)
次ページ	操作タッチキー２に切り換えます。

操作タッチキー 2

字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→P171)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→P171)
音声多重	音声出力を切り換えます。(→P171)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P172)
ワイドモード	表示画面を設定します。(→P172)
前ページ	操作タッチキー１に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

⏮または⏭を押す	チャプターのダウン／アップ
⏮または⏭を長く押す	早戻し／早送り
⏮または⏭を５秒以上押し続ける	キーを離してからも早戻し／早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

ワイプで操作する場合：

DVD-VR再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→P16)*をご覧ください。

→ワイプ	チャプターをアップします。
←ワイプ	チャプターをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

メモ

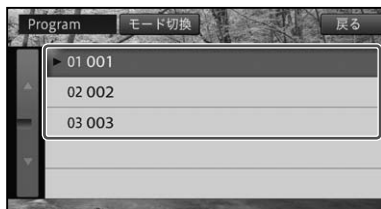
- **ビュー** にタッチすると操作タッチキーは消えます。
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。*(→P135)*
- DVD-VRの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVD-VRに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。*(→P206)*
- 再生できるディスクについては *「再生できるディスクの種類」(→P242)*を参照してください。

リストからタイトルを選んで再生する

リストから見たいタイトルを選んで再生することができます。

1 **リスト表示** にタッチする（→P168）

2 見たいタイトルにタッチする

▼

選んだタイトルが再生されます。

メモ

- **モード切換** にタッチするごとに、リスト表示をProgram再生（ディスクに記録された順番に再生）とPlayList再生（ユーザーが任意で指定して記録された順番に再生）に切り換えることができます。
- PlayListがない場合は、通常再生であるProgram再生のみとなり、**モード切換** は選択できません。
- モード切換を行うと、必ずそれぞれの先頭のタイトルから再生されます。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEAT に指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 **リピート** にタッチする（→P168）

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT → DISC REPEAT に戻る

つづく→

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート再生範囲は、画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘（禁止マーク）が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を１コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 II▶ にタッチする（→P168）

▼

再生が一時停止し、II▶ にタッチするごとに、映像が１コマずつ送られます。

メモ

- ▶/II にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、⊘（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。
- 静止画コンテンツを再生された場合は、タッチするごとに静止画が順に送られます。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 II▶ に2秒以上タッチする（→P168）

▼

スロー再生されます。

スロー再生中に II▶ にタッチするごとに、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

- ▶/II にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- スロー再生速度を逆方向に切り換えることはできません。元に戻したい場合（1/2から1/4など）は、▶/II にタッチしてスロー再生を解除してから操作し直してください。

CMバック/スキップ

再生中の映像を、一定の秒数だけ早戻し/早送りします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 CMバック または CMスキップ にタッチする（→P168）

▼

タッチするごとに、以下のような秒数で早戻し/早送りされます。

CMバック（早戻し）	**「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」**→「5秒」に戻る
CMスキップ（早送り）	**「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」**→「30秒」に戻る

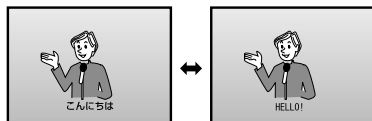
メモ
- ディスクや再生位置によって、⦸(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換 にタッチする (→P168)

▼

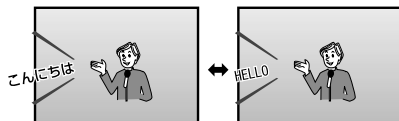
タッチするごとに、字幕言語が切り換わります。

⬌
メモ
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換 にタッチする (→P168)

▼

タッチするごとに、音声言語が切り換わります。

⬌
メモ
- DTS音声は再生できません。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声多重の切り換え

ディスクに2カ国語放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

1 音声多重 にタッチする (→P168)

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

MAIN+SUB → MAIN → SUB → MIX → MAIN+SUBに戻る

MAIN+SUB	左側スピーカーから主音声、右側スピーカーから副音声を出力します。
MAIN	左右のスピーカーから主音声のみを出力します。
SUB	左右のスピーカーから副音声のみを出力します。
MIX	左右のスピーカーから主音声と副音声を一緒に出力します。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチ にタッチする（→P168）

2 指定する方法（サーチの種類）にタッチする

TITLE、CHAPTER、TIMEが選べます。

数字キー

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。分・秒にタッチすると分と秒を確定します。

3 見たい場面の番号を入力し、決定 にタッチする

指定した場面から再生を始めます。

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

- 通常映像は縦横比４：３、ワイド映像は縦横比16：９です。

1 ワイドモード にタッチする（→P168）

2 お好みの表示方法を選んでタッチする

メモ

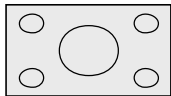
- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

FULL（フル）

４：３の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。

JUST（ジャスト）

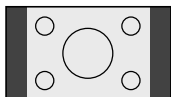
画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。

CINEMA（シネマ）

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。

ZOOM（ズーム）

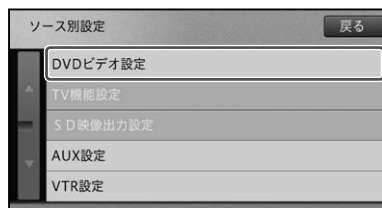
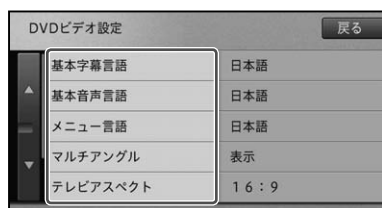
４：３の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。

NORMAL（ノーマル）

４：３の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

DVDの機能設定

DVD-V（Video mode）とDVD-VR（VR mode）の再生条件を、あらかじめ使用する環境に合わせて設定することができます。

1 メニュー を押し、設定・編集 – ソース別設定 にタッチする

2 DVDビデオ設定 にタッチする

3 各項目にタッチして設定する

各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

本書の表記について

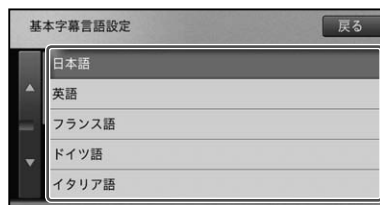
DVD-V DVD-VR ：Video modeとVR mode共に設定できる項目です。

DVD-V DVD-VR ：Video modeのみ設定できる項目です。

基本字幕言語 DVD-V DVD-VR

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます（マルチ言語字幕）。

1 基本字幕言語 にタッチする

2 それぞれの言語を設定する

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他 から選んでタッチします。

工場出荷時は「日本語」です。

メモ

- その他 にタッチしたときは、*「言語コード表」(→P177)* より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。

基本音声言語 DVD-V DVD-VR

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます（マルチ音声）。
設定項目は基本字幕言語と同じです。

メニュー言語 DVD-V DVD-VR

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。
設定項目は基本字幕言語と同じです。

マルチアングル DVD-V DVD-VR

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。
工場出荷時は「表示」です。

1 マルチアングル にタッチする

2 表示 または 非表示 にタッチする

表示	アングルマークを表示します。
非表示	アングルマークを表示しません。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

テレビアスペクト DVD-V DVD-VR

接続したテレビのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。
工場出荷時は「16：9」です。

1 テレビアスペクト にタッチする

2 アスペクトを設定する

16：9	ワイドモニター（16：9）使用時に選びます。16：9で収録された画像が16：9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の横幅を4：3モニターの横幅に合わせて16：9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の縦幅を4：3モニターの縦幅に合わせて16：9の比率で表示します（左右にはみ出た映像は表示されません）。

メモ

- 通常は16：9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、パンスキャン に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで 16：9 PS マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

映像ディスクを使う

視聴制限 DVD-V DVD-VR

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。

1 視聴制限 にタッチする

2 ４桁の暗証番号を入力し、入力終了 にタッチする

メモ

- はじめて操作する場合は、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

3 制限レベルを設定する

設定レベル	内容
8	ディスクをすべて再生します。
7～2	成人向けディスクの再生を禁止します（子供向けや一般向けディスクを再生します）。
1	子供向けのディスクのみ再生します。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で 削除 に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

オートプレイ DVD-V DVD-VR

DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。
工場出荷時は「OFF」です。

1 オートプレイ にタッチする

2 ON または OFF にタッチする

ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

メモ

- オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
日本語（ja）	1001
英語（en）	0514
フランス語（fr）	0618
スペイン語（es）	0519
ドイツ語（de）	0405
イタリア語（it）	0920
中国語（zh）	2608
オランダ語（nl）	1412
ポルトガル語（pt）	1620
スウェーデン語（sv）	1922
ロシア語（ru）	1821
韓国語（ko）	1115
ギリシャ語（el）	0512
アファル語（aa）	0101
アブハジア語（ab）	0102
アフリカーンス語（af）	0106
アムハラ語（am）	0113
アラビア語（ar）	0118
アッサム語（as）	0119
アイマラ語（ay）	0125
アゼルバイジャン語（az）	0126
バシキール語（ba）	0201
ベラルーシ語（be）	0205
ブルガリア語（bg）	0207
ビハーリー語（bh）	0208
ビスラマ語（bi）	0209
ベンガル語（bn）	0214
チベット語（bo）	0215
ブルトン語（br）	0218
カタロニア語（ca）	0301
コルシカ語（co）	0315
チェコ語（cs）	0319
ウェールズ語（cy）	0325
デンマーク語（da）	0401
ブータン語（dz）	0426
エスペラント語（eo）	0515
エストニア語（et）	0520
バスク語（eu）	0521
ペルシア語（fa）	0601
フィンランド語（fi）	0609
フィジー語（fj）	0610
フェロー語（fo）	0615
フリジア語（fy）	0625
アイルランド語（ga）	0701
スコットランドゲール語（gd）	0704
ガルシア語（gl）	0712

言語名（言語コード）	入力コード
グアラニ語（gn）	0714
グジャラート語（gu）	0721
ハウサ語（ha）	0801
ヒンディー語（hi）	0809
クロアチア語（hr）	0818
ハンガリー語（hu）	0821
アルメニア語（hy）	0825
国際語（ia）	0901
interlingue（ie）	0905
イヌピアック語（ik）	0911
インドネシア語（in）	0914
アイスランド語（is）	0919
ヘブライ語（iw）	0923
イディッシュ語（ji）	1009
ジャワ語（jw）	1023
グルジア語（ka）	1101
カザフ語（kk）	1111
グリーンランド語（kl）	1112
カンボジア語（km）	1113
カンナダ語（kn）	1114
カシミール語（ks）	1119
クルド語（ku）	1121
キルギス語（ky）	1125
ラテン語（la）	1201
リンガラ語（ln）	1214
ラオス語（lo）	1215
リトアニア語（lt）	1220
ラトビア語（lv）	1222
マダガスカル語（mg）	1307
マオリ語（mi）	1309
マケドニア語（mk）	1311
マラヤーラム語（ml）	1312
モンゴル語（mn）	1314
モルダビア語（mo）	1315
マラータ語（mr）	1318
マライ語（ms）	1319
マルタ語（mt）	1320
ビルマ語（my）	1325
ナウル語（na）	1401
ネパール語（ne）	1405
ノルウェー語（no）	1415
プロバンス語（oc）	1503
オロモ語（om）	1513
オリヤー語（or）	1518
パンジャブ語（pa）	1601
ポーランド語（pl）	1612

言語名（言語コード）	入力コード
アフガニスタン語（ps）	1619
ケチュア語（qu）	1721
レートロマン語（rm）	1813
キルンディ語（rn）	1814
ローマ語（ro）	1815
キニヤルワンダ語（rw）	1823
サンスクリット語（sa）	1901
シンド語（sd）	1904
サンド語（sg）	1907
セルボクロアチア語（sh）	1908
セイロン語（si）	1909
スロバック語（sk）	1911
スロベニア語（sl）	1912
サモア語（sm）	1913
ショナ語（sn）	1914
ソマリ語（so）	1915
アルバニア語（sq）	1917
セルビア語（sr）	1918
シスワティ語（ss）	1919
セストゥ語（st）	1920
スンダ語（su）	1921
スワヒリ語（sw）	1923
タミル語（ta）	2001
テルグ語（te）	2005
タジル語（tg）	2007
タイ語（th）	2008
チグリス語（ti）	2009
ツルキ語（tk）	2011
タガログ語（tl）	2012
セツワナ語（tn）	2014
トンガ語（to）	2015
トルコ語（tr）	2018
ツォンガ語（ts）	2019
タタール語（tt）	2020
トウィ語（tw）	2023
ウクライナ語（uk）	2111
ウルドゥー語（ur）	2118
ウズベク語（uz）	2126
ベトナム語（vi）	2209
ボラピュク語（vo）	2215
ウォルフ語（wo）	2315
コーサ語（xh）	2408
ユルバ語（yo）	2515
ズールー語（zu）	2621